

ハートがたくさんの村づくり

No.196

差別のない、人への思いやりを大切にする、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

～「子ども人権110番」強化週間～ 悩みがあったら、相談してね！

期間：8月26日(金)から9月1日(木)までの7日間

時間：午前8時30分から午後7時まで(土曜・日曜日は午前10時から午後5時まで)

電話：Tel0120(007)110(全国共通・無料)

「いじめ」や家庭内における児童虐待などの事案が、依然として多く発生していることから、全国一斉「子ども人権110番」強化週間を実施することになりました。

○いじめ

いじめの実態は、巧妙でいじめの方法、手段も次第にエスカレートしており、いじめをする子どもやいじめを見て見ぬふりをする子どもが生じる背景には、子どもを取り巻く学校、家庭、社会環境や核家族化などが複雑に絡みあっています。

○体罰

教職員による体罰は、学校教育法11条で明確に禁止されているところです。体罰はいじめのモデルになったり、校内における暴力容認の雰囲気を作り出したり、児童・生徒のいじめや不登校を誘発・助長する要因になるとも考えられます。

○児童虐待・児童買春・児童ポルノ問題

昨今、幼児や児童を親などがせっかん・虐待し、中には死にまで至らしめるという痛ましい事件が多発しています。また、国内外での児童買春や性的虐待、インターネット上における児童ポルノの氾濫など、児童を性的に商売の道具にする商業的性的搾取の問題が世界的に深刻になっています。

このような問題に対する施策として、小・中学校の児童・生徒に「子どもの人権SOSミニレター(便せん兼封筒)」を配布し、学校および関係機関と連携を図りながら取り組みを実施しています。また、強化週間以外にも「子どもの人権110番」を継続しており、子どもが相談しやすい体制をとるとともに、啓発活動や調査救済活動に取り組んでいます。

※相談内容についての秘密は厳守します。

村民みんなで「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。 総務課 人権政策係 Tel0967(67)1111

なんでも 南部分署

熱中症に注意しましょう！

熱中症は屋内外を問わずに高温多湿が原因となって起こります。最悪死に至る危険な症状です。また、引き続きコロナ感染症対策によりマスク着用で熱中症になるリスクが高くなっています。注意しましょう。

毎年高齢者の熱中症が目目されますが、子どもは夢中になると自分の体調の変化に気づきにくく大変危険です。また、大人に比べて背も低く、地面からの照り返しで体温が上昇します。体温調節機能も未熟なため、熱中症にかかりやすくなります。高齢者だけでなく、子どもにも注意が必要です。そこで次の4つのポイントで熱中症を防ぎましょう。

熱中症を防ぐ4ポイント

①のどが渇く前に水分補給をしましょう

※水分だけではなく、塩分や糖分も補給しましょう。

②室温28度を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう



③無理をせず、適度に休憩をしましょう

④日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを心がけましょう

熱中症の症状

①めまい、こむら返り、手足のしびれ

②頭痛、吐き気、虚脱感

③意識障害、けいれんなど

熱中症になったときの処置

①涼しい場所に避難させる

②水分・塩分を補給する(スポーツドリンクがおすすめ)

③衣服を脱がせ、身体を冷やす

こんな時は救急車を要請してください

呼びかけても様子がおかしい。体が熱いのに汗をかかないなどの症状がありましたら、重症化する前に救急車を要請してください。

〈問い合わせ〉 阿蘇広域行政事務組合 消防本部 南部分署 TEL0967(62)9034 火事・救急 119